



予餞会

2月28日（木）、卒業生を送る予餞会が開かれました。生徒会は、みんなで卒業生と一緒にパラニュースポーツ「カローリング」を楽しむ企画を立ててくれました。

カローリングは、言うなれば、室内のカーリング、床の上のカーリングでしょうか。カーリングで使用するストーンに車輪をつけたような「ジェットローラー」を滑らせ、的の中央に一番近く投げられたチームに得点が入るというゲームです(一部本校定時制独自ルール採用)。



6つのチームを2グループに分け、3チーム総当たりのリーグ戦を行い、各リーグの1位が優勝をかけて対戦するという、2時間程度のなかなかの長丁場でしたが、凍える寒さをものともせず（先生たちは凍えていましたが）、みんな和気あいあいとプレーしていました。

この日は、定時制の生徒が一人も欠けることなく登校しました。全員で集まったこと自体が、何よりの卒業生へのエール、餞（はなむけ）になっていたように感じました。生徒会役員は、企画、準備、そして当日の司会、運営を手際よく、心を込めて行い、プレーする一人一人が真剣にストーンを投げ、良いプレーには拍手が起こり歓声が上がりました。みんな、ただただカローリングに夢中になり、楽しい時を過ごしていたのですが、この時間の記憶は、いつか、たとえば難しい状況に直面した時に、卒業生や在校生の背中を押してくれたり、支えになってくれるのではないかと思います。

（文責 定時制教頭）